



深川東京モダン館だより

Fukagawa Tokyo Modankan News



共催 三味鼎話 講談と落語と講座と

6月6日(土) 14:00~16:00 (開場13:30)

特集 信仰 講談 神田 陽子 「釈迦の女弟子 ウッパラ・バンナー」
 落語 橘家 蔵之助 「お血脈」
 講座 龍澤 潤 「深川寺町の成立」

予約・当日 2,000円 定員 30名 ※5月15日(金) 10時から受付

共催 食べる・学ぶ・深川めし 6月7日(日) 11:00-15:00

11:00-14:30 弁当販売 (500円、1000円) (深川めし八郎右衛門)
 おむすび(生姜香るあさり時雨煮) 販売 (300円) (ヤマタネ)
 11:30-14:00 深川めし調理実演・販売 (500円) (深川宿)
 14:00-14:45 レクチャー「大横川の醤油醸造」 龍澤潤



参加無料・予約不要

共催：深川めし振興協議会 写真はイメージです

6月のカレンダー

開館時間 10:00-18:00

月	火	水	木	金	土	日
1 休館日	2 おきがる講座	3	4	5	6 三味鼎話	7 食べる・学ぶ・深川めし
8 休館日	9	10	11 キッチン 松ぼっくり 営業日	12 モダン館 円楽一門会	13	14
15 休館日	16	17	18	19	20	21
22 休館日	23	24	25 キッチン 松ぼっくり 営業日	26 おきがる講座	27 圓橋の会	28
29 休館日	30 嘸+話					

懐かしい給食の味！キッチン松ぼっくり

6月11日(木) 11:45-14:00

野菜の肉巻き三種 (アスパラ・ごぼう・人参)
ひじきふりかけご飯
サラダ&ポテト あじさいゼリー

6月25日(木) 11:45-14:00

ジャンバラヤ
豆サラダ 汁物
おかしなお菓子な目玉焼き

850円



写真は6月11日のイメージです

※受付は当日の10:00から(開館は10:00)
※完売次第、閉店いたします ※ラストオーダーは13:30です
※ご予約はできません ※メニューを一部変更する場合があります

揚げパンは1個50円

共催 **モダン館円楽一門会** 6月12日(金)14:00~16:00
(開場13:30)

楽麻呂 朝橘 栄豊満 鳳月 演目は当日のお楽しみ

+ 「深川と落語にちなんだ話」 龍澤潤

予約・当日2,000円 定員50名 ※5月26日(火)10時から受付

共催 **圓橘の会** 6月27日(土)15:00~ (開場14:30)

三遊亭 圓橘・好青年 圓朝作「続・安中草三」

予約・当日3,000円 定員50名 ※6月16日(火)10時から受付



共催 **噺 + 話** 6月30日(火)14:00~ (開場13:30)

林家あんこ「王子の狐」 + 龍澤潤「演題にちなんだ話」

予約・当日1,500円 定員20名 ※6月16日(火)10時から受付

主催 **おきがる講座** 江東区の歴史を学ぶ講座です

6月2日(火)14:00~15:30 シリーズそのとき栄一は①深川邸誕生 再

※5月15日(金)10時から受付

6月26日(金)14:00~15:30 冬木弁天堂 ※6月5日(金)10時から受付



各回とも 受講料：500円 定員：50名(要予約) 講師：龍澤潤(深川東京モダン館)

砂町今昔



1、北砂5丁目辺り

現在 UR 北砂 5 丁目団地のあるところはそれ以前には東芝の社宅が建っていた。東側はフェンスで仕切られていて外側は野放図な原っぱが広がり東南に池があった。近くの子供達だけでなく私も遊んでいた。ある日同級生を見かけて声をかけた。「何してるの?」「ヨモギを摘んでるの」「どうして?」「お母さんにヨモギ餅をつくってもらおうの」「ふうん」ヨモギを見分けられるのに感心し出来立てのヨモギ餅を想像し羨ましくなった。

社宅の建つ前は、東芝電気砂町工場で明治時代には製糖工場があり我が国、製糖業の発祥の地でもある。

江戸時代は、徳島藩蜂須賀家(かつて豊臣秀吉の家臣でもあった)下屋敷、松平冠山という学者大名の下屋敷など小名木川南岸には大名・旗本の下屋敷が集まっていたらしい。松平冠山の説明板は製糖発祥の地説明板の道を挟んで向かいにあり植え込みの枝葉で見えにくい。

2、砂町銀座

砂町銀座は北砂3、4、5丁目の東西約670mの賑やかな商店街で有名であるが、北側に上野堀通り(吉良上野介の下屋敷)があり代官堀という名前も残っている。『江東ふるさと文庫古老が語るシリーズ』に大正12年に引っ越して来た森時計店の森徳太郎氏の談話で砂町銀座になる前、店は18軒位あり両側は蓮畑だったという。森さん達は高

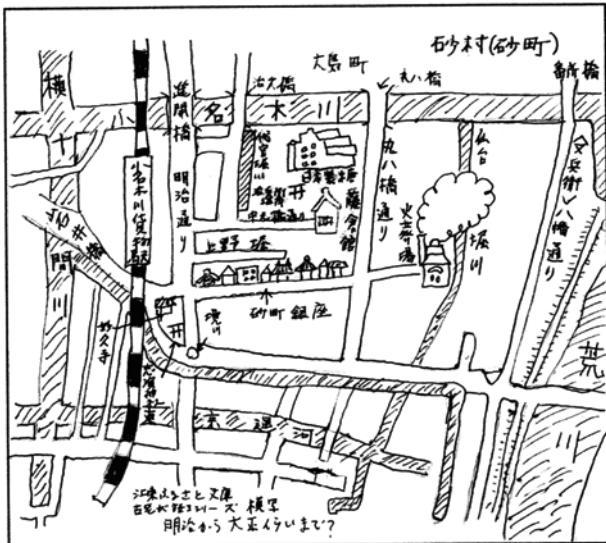
橋、門前仲町の商店の人に人集めの方法を聞いて縁日などを開催した。

砂町銀座は昭和7年に発足し、高梨輝憲『小名木川物語』によれば焼き場通り(火葬場)と呼ばれていて、江戸初期は深川の正覚寺境内にあった火葬場が、江戸中期に四世鶴屋南北の『東海道四谷怪談』の舞台の一つで知られる岩井橋東側の砂村隠亡堀へ移り、明治20年代に亀戸の火葬場と共に北砂6丁目に移ってきたのである。私の中学校の同級生も火葬場跡の分譲住宅に引っ越した子がいて何度も遊びに行ったがこの火葬場は大正の頃には閉鎖されていた。

焼き場道だった砂町銀座の現在は160店舗位で森時計店を訪ねたところ、森芳宣(よしのぶ)さん95歳(前出の森さんの息子さん)に昭和15年の商店の見取り図を見せて頂き、森時計店、みどりや(お茶)、柳屋(薬局)、まからんや(衣料品)と場所は変わったが今もお店があると教わり砂町商店街振興組合事務所の前に高平稲荷神社も祀られている。

令和の砂町銀座といえば小野寺史宣『ひと』という小説が本屋大賞2位になりベストセラーにもなった。両親を次々と失った大学生が大学を辞めふらっと来た砂町銀座のあるお惣菜店で1つだけ残ったコロッケを買おうかどうか迷っていたら先におばあさんが買ってしまい、店の人にメンチカツをもらった。それがきっかけで彼はその店で働くことに。その店の人達の人情に触れながら次第に青年は自分を取り戻していくという物語である。

砂町銀座は東京三大銀座、戸越(品川区)、十条(北区)、砂町(江東区)の1つでもある。



(文と写真 江東区文化観光ガイド 川井 美佐子)

深川東京モダン館では江東区文化観光ガイドによる館内のご案内(10時~16時)およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー(1時間程度、11時・14時出発)を行っています。※諸事情によりガイド不在の場合もあります。

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室 (20㎡)

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース (80㎡)

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、落語会等



多目的スペース



会議室

※料金・ご予約の詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています



♪梅雨の必需品♪

コトミちゃん

傘カバー 500円(税込)

カーキ・ネイビー・レッド

当館は全て現金のみです

百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒー各種をご提供しております
日替わりホットコーヒーとモダン館ブレンド(しっかり・すっきり)、さらに夏季限定「ひやし」をご用意

まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中にどうぞ



開館日および開館時間

10:00-18:00

休館日：月曜日

(月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります)



「深川東京モダン館だより」第154号(2026年5月14日)
発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館
〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15
TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632
Mail info@fukagawatokyo.com
ホームページ www.fukagawatokyo.com

